

# 令和5年度京都市ひきこもり支援事業補助金事業実績

## スタートアップ部門

### 日本文化の「茶の湯」体験を通じた居場所づくり (一般社団法人 ムーンライト)

実施日 令和5年10月21日、令和6年2月3日

会場 karasuma BASE (中京区)

#### 事業実績

茶師を講師に迎え、日本茶の香りや味により心身共にリラックスすることで、当事者やそのご家族、支援者同士のスムーズなコミュニティの形成を目的として2回のセミナーを開催。お茶の話を聴きながら、茶香服と呼ばれる利き茶を体験した。終始和やかな雰囲気の中、参加者同士が自由に語り合える居場所となった。



### 「発達障害の生きづらさとひきこもりの長期化」シンポジウム ～医療・心理・就労・当事者・家族 それぞれの立場から～ (特定非営利活動法人 若者と家族のライフプランを考える会)

実施日 令和5年9月3日

会場 京都経済センター (下京区)

#### 事業実績

定本ゆきこ氏(精神科医)による基調講演と、パネリスト(支援機関、当事者)からの課題提供発表、澤月子氏(自閉症スペクトラム支援士)の進行によるパネルディスカッション、質疑応答を行った。定員(60名)を超える申し込みがあり、参加できなかった方や希望される方には当日撮影した動画を限定公開するなど、多くの方々に情報を届けるための工夫を行った。「厳しい状況の中でも希望が見えた」「京都市のひきこもり支援機関を利用してみたい。」等の声をいただいた。



2023年9月3日

## ナイスラボ (HARETOKE)

実施日

令和5年5月5日、8月11日、9月18日、  
11月23日、令和6年2月11日

会場

三条未来ファクトリー3号室(中京区)等

事業実績

生きづらさを抱える若者を対象に、  
芸術表現を通して当事者やその家族  
が安全に過ごせる、周囲の方の気持  
ちの発散ができる、周囲と繋がりを持つことで視野や  
感性を拡げながら精神的な居場所になれるイベント  
を年間を通して5回開催した。

イベントを通して当事者を支援団体に繋ぐことや、  
当事者にボランティアスタッフとして参加を呼びかけ  
ることで、継続的にイベントに参加いただくことができ  
た。



## 鬼あげひまわり

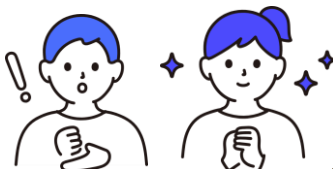
(鬼あげこども食堂)

実施日

令和5年6月1日～令和6年3月31日

会場

鬼あげ+  
(右京区)



事業実績

週に1度、子どもを対象として、当事  
者のための居場所を開き、食事を無料  
提供するとともに、様々な状況にある当事者にスタッフが  
時間をかけて寄り添うことで話す機会を提供。

事業を通じて、他者との関わりが可能となるなど、コ  
ミュニケーションの幅を広げることや、当事者にとって安  
心できる居場所を作ることができた。



# ひきこもり支援ネットワーク構築事業 (MUGENプロジェクト)



実施日

令和5年6月1日～令和6年3月31日

会場

ラメール三条(東山区)

事業実績

参加者同士でお話ができる「月一交流会」を実施し、当事者が自分らしく過ごせる居場所を提供した。

この場を通じて、当事者どうして新たな企画をして実践したり、雇用先を紹介したりなど、交流の広がりが生まれた。

また、当事者の中から代表一名がコミュニティづくりのための講座を受講し、そこで学んだ知見を活かすことで、参加しやすい場作りの実践に繋がった。



# 藤袴地域交流事業 (特定非営利活動法人 恒河沙母親の会)



実施日

令和5年4月1日～令和6年3月31日  
毎週木・金 10～15時

会場

恒河沙母親の会(上京区)

事業実績

当事者やその御家族、地域の人々が、事業所でコーヒーや茶菓子を楽しみながら、藤袴や野菜の植木への水やりができるよう環境整備を行ったことで、当事者やその家族、孤立している高齢者の方々が地域の方々と交流するきっかけができた。

また、当事者や家族には相談支援を行った。

参加者同士の交流が生まれ、年齢や立場に関わらず、挨拶が交わされる空間となり、孤独感・閉塞感の解消につながった。

